

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山工業高等学校

学校番号 (24)

評価実施日		令和6年2月21日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	菊池 伸英	同窓会会長	
	大北 謙治	前同窓会会長	
	佐々木 亨	P T A会長	欠席
	日野 繁	学校関係者評価委員	
	中川 智之	学校関係者評価委員	欠席

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 今後ポスターセッション形式の学習成果の発表を位置付けていくとのことだが、各科で実施するのか。(全日制)</p> <p>SDGsやAIなど新しい教材が増えてきているので、それらを使いながら様々な活動を実施していくのは大変だと思う。資料にある「地域の課題解決プロジェクト」の活動について、これだけの活動を課題研究の時間だけで実践していくことは可能なのか。(全日制)</p> <p>(2) 生徒指導 挨拶に関する学校評価アンケートでは、「よくできている」の割合において、生徒の自己評価と教員の評価でかなり差がある。生徒と教員の間に意識の差があるのではないかと。差が縮まるような指導をお願いしたい。(全日制)</p> <p>定時制の出席率が高く素晴らしいが、何か特別な指導はしているのか。継続してこのような出席率を保てるとよい。(定時制)</p> <p>(3) 進路指導 進学の評価については、求人が好調であるという社会情勢から進学よりも就職に希望が傾いたということは仕方のない状況である。高校卒業時には、将来どのような道に進むか決まっていなければならない。一人一人の生徒に適切なアドバイスをしながら進路実現を目指し、社会に貢献できる人材を育ててほしい。(全日制)</p>	<p>インターンシップでは一つの事業所に複数の科がまたがって参加させてもらっているところもあるので、学科間の連携は必要であるが、時間割の関係もあり、2時間ずつ各学科で行う予定である。</p> <p>2年生の課題研究は2単位、年間70時間の設定である。インターンシップ、その事前指導、ポスターセッションの準備などを実施するが、普通教科とも調整し、2学期にまとめ取りするなどして対応し、時間は確保できている。</p> <p>卒業後社会に出ていく生徒も多いので、きちんとした挨拶やモラル・マナーを身に付けることは重要である。校門一礼をはじめ、言葉遣いや礼儀など、機会を捉えて声掛けをし、指導を継続する。</p> <p>特別な指導はしていない。生徒数が少ないこともあるが、中学校までの自分を変えたいという意識で頑張っている生徒もいる。生徒の気持ちに寄り添っていきたい。</p> <p>生徒自身が自分の知識、技術、興味、性格、価値観などについて理解し、個別の適性に合わせて職業や進路について探究し、社会的・職業的自己実現を達成できるよう継続的なサポートを行う。</p>

<p>(4) 特別活動 松山工業といえば、サッカー、ラグビー、ハンドボールの強豪という印象があるので、それらの部にもぜひ頑張ってもらいたい。 (全日制)</p>	<p>更に研究を重ね、生徒の自主性を重んじながら、皆様の期待に応えることができるよう生徒と共に取り組んでいきたい。</p>
<p>(5) 環境整備 「奉仕活動の充実」「職場環境の整備」については、評価が厳しいように感じる。現状を鑑みるとB評価でよい。(全日制)</p>	<p>おおよそ8割のクラス・部活動が奉仕活動を実施できた。来年度は更に活動率が上がるよう方策を考えたい。</p>
<p>(6) 業務改善 メンタルヘルスについて十分に成果があったと思われるので、B評価でよい。 (全日制)</p>	<p>校内のバリアフリー化を更に進め、誰にとっても働きやすい職場環境の整備に努めたい。</p>
<p>2 説明・公表について 適切である。(全日制・定時制)</p>	<p>本校の取組をより理解していただきやすいよう、資料を工夫したい。</p>
<p>3 学校運営への提言 各領域で生徒のことを考えて、尽力して取り組んでいる。(全日制・定時制)</p>	<p>いただいた評価・提言を来年度の教育活動に生かしたい。</p>